

化粧品の色のお話



化粧品にはいろいろな色がありますね。
この色は化粧品によく言われる見た目品質というものです。

弊社の製品においてもお客様からこんなお問い合わせをいただくことが多いんですよ。

「買ってしばらくしたら色が変わって来たんですけどどうしてでしょう。」

そう、それには次のような理由があるんです。

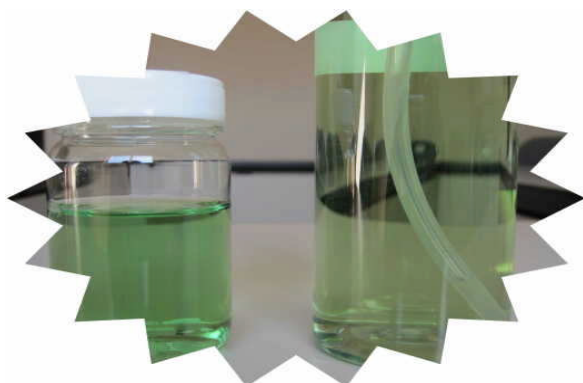
ローズ水、フランスカイガンショウ樹皮エキス、セイヨウキズタエキス、セイヨウナツユキソウエキス、クレマチスエキス、ヒバマタエキス、スギナエキス、オレンジ油、ホップエキス、セイヨウアカマツ球果エキス、ローズマリーエキス、キュウリ果実エキス、ローズ油 etc

など、弊社の化粧品には原料として数え切れないほどの植物由来天然成分が使われています。

皆さんは、この天然成分が化粧品の色になっていることをご存知でしょうか。



左の写真をご覧ください。
左と右では色の濃さが違うのが分かると思います。
この二つは製造日が2カ月違うものです。
2カ月経つと色が変化するんですね。



これも同じです。
時間がたつと色調が変化していますね。
これが天然成分配合化粧品の特徴です。

天然成分で色を付けた化粧品は、非常にデリケートです。
経時変化とも言いますが、時間がたつと色調が変化するものが多いんです。

天然成分にはもう一つ特徴があります。
自然から採れたものですから、収穫時期によって色が違うんですね。

このため、化粧品原料には試験成績書などと言う原料の規格とその原料を試験した結果がついてきます。その規格の中に色も含まれているということなんです。

下の成績書のように淡黄色～暗緑色などと言うように巾を持たせてあります。

試験成績書

(版:01-06外原規)

品名 アボカド油
製造会社名
ロット番号
試験年月日

試験項目	規格値	試験方法	試験成績	判定
性状	淡黄色～暗緑色の透明な油状で匂い及味は特異性を呈する。	標準品と比較する	淡黄色～暗緑色の透明な油状で匂い及味は特異性を呈する。	適
酸価	5.0 以下	外原規	0.08	適
鹼化価	180 - 200	外原規	191.8	適
沃素価	65 - 110	外原規	87.9	適
屈折率20℃	1.460 - 1.474	外原規	1.469	適
比重 20℃	0.905 - 0.923	外原規	0.915	適
不けん化物	4 以下	外原規	適合	適
色	6 以下	ガードナー法	適合	適

すなわち、化粧品に使用する原料ロット(製造時期)によっても、化粧品の製造後の期間によっても色が変わる可能性があるということです。

でも、ご安心ください・・・色が変わっても品質に直接影響するものではないんですね。

こんなにデリケートな天然成分ですが、デリケートな女性の肌のためにデリケートな天然成分ってなにかとってもいい感じに思えるのは私だけでしょうか。

品質管理室長